

2022年度の資金運用結果について

2022年度の世界経済は、漸くコロナ禍から脱却して持ち直しを示すなか、回復する需要に供給が追いつかず、またウクライナ情勢によるエネルギーや食料の供給懸念も相俟って高水準の物価上昇が続きました。米国をはじめ主要国の中央銀行がインフレを阻止するために段階的に利上げを実施したことで、海外金利が大きく上昇し、為替相場も大幅な円安・ドル高が進みました。

このような投資環境において、「2022年度資金運用方針」に基づく資金運用に臨み、2022年度の有価証券の運用収益は7.1億円（利回りは1.1%）となりました。

以下に2022年度の運用結果についてご報告いたします。

1 国内債券

国内債券については、償還債券を原資に、金利動向を考慮しつつ利回り確保の観点から長期ゾーンの債券を購入する計画とし、1%以上の利回りが確保できる銘柄を購入しました。

国内債券による運用収益は2.0億円となりました。

2 外国債券

外国債券については、償還債券を原資に、金利動向、為替動向を考慮しつつ利回り確保の観点から長期ゾーンの債券を購入する計画とし、5%以上の利回りが確保できる銘柄を購入しました。

外国債券による運用収益は2.9億円となりました。

3 リスク性資産

リスク性資産については、新たにパッシブ運用の委託を開始しました。

リスク性資産による運用収益は1.5億円となりました。

4 短期運用

短期運用については、期間3ヶ月の合同運用指定金銭信託に預け入れをしました。

短期運用による運用収益は0.4億円となりました。

5 その他

仕組債等による運用収益は0.3億円となりました。

以上